



愛知県議会議員（岡崎市・幸田町） 県政報告

しんかい正春

～「現地現物」そして「安全は全てに優先」～

令和2年1月 VOL. 11
発行 しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL・FAX 0564-58-0128

新年明けましておめでとうございます

— 現場に出向く活動の充実 —

皆様方には、穏やかな清々しい新年をお迎えのことと存じます。また、日頃は温かいご支援・ご協力とともにご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年4月に県議会議員として2期目のスタートを切ってから、最初の新年を迎えました。議員としての責任の重さを胸に刻み、その負託にお応えしていく決意を新たにしています。私は皆様方の生の声を県政にお届けするため、自分の目で見て、耳で聴いて、心を働かせて確かめられるよう、直接現場に出向き、多くの方々との話し合いやご助言をいただきながら、岡崎・幸田地域の課題に引き続き取り組んでまいります。

本号では、私の政務活動の一端をご報告させていただきます。ご高覧いただければ幸いに存じます。今後とも引き続き、一層のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方にとりまして、本年が素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。



愛知県議会議員 新海正春

12 月定例県議会の報告

令和元年12月の定例県議会は12月3日に開会し、18日間の会期を経て12月20日に閉会しました。私は12月9日の本会議において次の3項目について一般質問を行いました。

1. CSF 対策、2. スマート農業の推進、3. 愛知目標達成に向けた生物多様性保全の取組

最終日の本会議では各委員長報告の後、一括採決され、「令和元年度愛知県一般会計補正予算（第5号）」をはじめ32件の議案及び3件の請願は、全て原案通り可決・同意されました。また、平成30年度愛知県一般会計歳入歳出決算をはじめ17件の決算関連議案は認定されました。



12月定例県議会での一般質問

＜一般質問を傍聴して＞ Y.K

二度目の県議会の傍聴でしたが、今回も新海議員は議長の指名から他議員の拍手に送られ、演台につき朗々と質問をしました。質問にCSF問題が含まれており、ことの重大さに県庁関連部署職員のほか、大村知事まで回答に時間を割いていただきました。仕事人新海議員を垣間見た気がしました。

■ 令和2年2月定例県議会の開催予定 2020/2/19～ 3/25

12 月定例県議会での私の一般質問(質疑要旨)

【質問 1】

CSF（豚コレラ）対策について

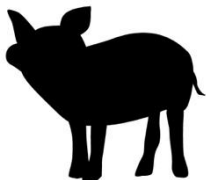
- (1) C S F（豚コレラ）及び A S F（アフリカ豚コレラ）の発生防止に向けた今後の対策について伺う。
- (2) C S F の拡大防止に向けた今後の野生イノシシ対策について伺う。

【回答】（農業水産局長）

- (1) 11 月 23 日までに県全体で約 20 万頭の豚へのワクチン接種を終えているが、その後西尾市で新たな C S F が発生した。C S F の発生防止については、A S F のアジアでの感染も念頭におきながら農場や施設の清掃消毒、農場内専用の作業着や靴の着用、農場内に入る車両の消毒などの飼養衛生管理基準を徹底するよう引き続き指導していく。加えて各農場の周囲に野生動物侵入防止柵の設置を進めるとともに養豚の盛んな産地を中心に車両消毒装置を備えた自主消毒ポイントを設置などウィルス侵入を遮断するための対策を進めていく。豚へのワクチン接種についても確実に免疫が獲得されているかどうかの検査を進めるとともに新たに生まれてくる子豚へのワクチン接種を徹底し、養豚場での C S F 発生防止に努めていく。
- (2) 経口ワクチンは 11 月末までに 800 箇所、17,730 個を散布している。年度末までに 35,000 個の散布を計画している。イノシシの捕獲については全県で 4,504 頭と前年同期の 8 割程度の捕獲頭数となっている。今後はイノシシの生息状況を把握しつつ効率的、効果的な捕獲を行い生息個体数の大幅な削減をめざす。幸田町南部に移動防止柵を設置し、養豚場が多く存在する西尾以西へのイノシシの移動を防止する。

【回答】（大村知事）

2 月に県内での発生が確認されてから 6 万 4 頭近くの子豚を殺処分した。防疫作業には多くの皆さんに協力いただき感謝している。豚へのワクチン接種については、初回の接種を完了し、その後も新たに生まれた子豚に対して生後 1 か月をめどに順次接種を継続している。心配していた価格の下落もなく、風評被害も見られていないが、引き続き不適切表示などの監視をしていく。今後も日本の養豚、愛知の養豚を守るため、関係機関と連携し、C S F の防疫対策とイノシシの対策を含めた感染防止対策に万全を期すとともに今一番厳しい立場にある農家に寄り添って対応し、必ず経営再建を果たしていただけるよう支援していく。



CSF とは

CSF ウィルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病です。

CSF は豚やイノシシの病気であって、人に感染することはありません。

仮に CSF にかかった豚の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。

感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

（出典：農林水産省消費・安全局動物衛生課 HP より抜粋）

【回答に対する私からの要望】

セントレアでの検疫で A S F ウィルスが検挙されている事実や C S F の農場への感染経路が、いまだに完全に解明されていないことを考えると国内への侵入に危機感を持っている。国・県・農家が一体となって、取組むための仕組み作りと養豚農家への支援をしっかりと願います。

【質問 2】

スマート農業の推進について

本県農業の特徴である施設園芸の生産力を高めるために、スマート農業をどのような方向性で推進しようとしているのか。

【回答】（農業水産局長）

本県では、イチゴやトマトなど施設園芸について「あいち型植物工場」の普及を図っている。今後さらに生産力を高めていくため、「勘に頼った農業」から「データに基づく農業」に転換していくことが必要である。一部の農家だけでなく、できるだけ多くの農家がデータを共有し、産地全体でレベルアップを図っていくことが重要と考えている。またスマートフォンで撮影した作物の画像から生育状況をデータ化する研究も進めており、「あいち型植物工場」と組み合わせて収穫量や品質のさらなる向上や計画的な生産・出荷ができる技術開発など本県施設園芸の生産力向上を推進していく。

【質問 3】

愛知目標達成に向けた生物多様性保全の取組について

本県で開催された COP10 で採択された「愛知目標」の達成に向け、2013 年 3 月に「あいち生物多様性戦略 2020」を策定し、「あいち方式」という独自の取組を精力的に進めてきたと承知している。これまでの外来種対策を含めた生物多様性の保全について、どのように取り組み、また「愛知目標」の目標年である 2020 年にはどのような取り組みを行うのか。

【回答】（環境局長）

「あいち生物多様性戦略 2020」では、「人と自然が共生するあいち」の実現を基本目標とし、開発と生物多様性保全の調和を図る、本県独自の「あいち方式」を中核的取組として掲げている。この「あいち方式」により、県民、事業者、NPO の皆様や行政といった地域の様々な分野の人々が共通の目標のもとに、協働（コラボレート）して、地域本来の自然環境を保全・再生し、人と人とのつながりを育みながら、生き物の生息環境をつなぐ「生態系ネットワークの形成」の県内展開を図ってきた。2020 年には「あいち方式」による取組をさらに発展・深化させていくとともに新たな生物多様性戦略を策定する。また全国リレーイベントのキックオフとなる「あいち・なごや生物多様性 EXPO」を 1 月に開催するのを皮切りに、1 年間を通じて共通ロゴマークの下、様々な主体による取り組みを促進・展開し、県内・国内での気運の盛り上げを図っていく。

国への要望活動（森林・林業等施策の推進に関する重点要望書の提出）



12 月 10 日、文部科学大臣政務官青山周平衆議院議員はじめ今枝宗一郎衆議院議員、八木哲也衆議院議員、根本幸典衆議院議員、酒井庸行参議院議員、林野庁に対して、森林・林業等の推進に関する要望活動を実施し、様々な国策について意見交換を行いました。

〔重点要望事項〕

ICT を活用した「スマート林業」の取組の推進、森林環境譲与税を活用した取組の推進、都市部における木材利用の推進

後援会連合会の活動報告 「第4回しんかい杯グラウンドゴルフ大会」

後援会会員相互の親睦を深めるため、11月5日に幸田町大日蔭グラウンドゴルフ場において、250人を超える方に参加いただき、「第4回しんかい杯グラウンドゴルフ大会」を開催いたしました。連合会役員をはじめ経験と知識の豊富な方々のアドバイスを受けながら、役員が協力し、準備作業から大会当日の運営まで進めることができました。参加される地区も岡崎、幸田と広がりつつあり、今後も多くの方の参加を期待し、より深い親睦と人と人の和がより大きく実りある大会が開催されることを心から願っています。（実行委員長 六ツ美西部学区 河合孝）



新海本人による始球式

安心安全な地域の実現 愛知県 17年ぶり交通死者数ワースト脱却

1年間の交通事故の死者数が全国で16年連続最多の愛知県は、汚名返上に向け死者の約半数を占める65歳以上の高齢者対策として、高齢ドライバー交通安全セミナーの開催、事故分析システムの改良、高齢者の居住実態に応じた取締強化、交通安全施設の整備充実などの施策を進めてきました。その結果、去年1年間の死者数は暫定値でおとしより33人少ない156人でした。先月26日時点で千葉県169人を下回っており、17年ぶりに全国最多を脱却する見通しです。安心安全な地域実現に向け、交通安全対策は重要な取り組みです。地元からのカーブミラー設置や道路改修などの要望を受けて、現地を確認したうえで、関係機関に対して早期対応を働きかけ実現するなど交通事故防止に貢献できました。



交通安全県民運動出発式



高齢ドライバー交通安全セミナー



カーブミラー設置（細川町）



横断歩道新設（坂崎区）

各種式典への私の参加活動



第71回愛知県表彰式



消防連合フェア表彰式 三島消防団表彰



建設委員長として三遠道路3号トンネル貫通式に出席



公式ホームページ shinkaimasaharu.com

◆「しんかい正春事務所」へ皆様のご意見をお寄せください。

E-mail: m-shinkai@mics.ne.jp

TEL/FAX 0564-58-0128

